

雄武中だより

【重点目標】引き出そう！育もう！膨らまそう！三つの資質と能力
「行動への意欲」「自尊感情」「周囲への感謝と愛着」

【スクールフーズ】まだ見ぬ自分との出会いと感動

学校HP <https://www.10.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=0120012>

5月号

令和6年5月31日(金)

発行：雄武町立雄武中学校

電話：(0158)-84-2529

「新たな学び」の時代

雄武中学校 校長 辻 正樹

新学期がスタートして2ヶ月が経とうとしています。今年も、学校の花壇にたくさんのチューリップが咲きました。13日から運動会に向けて特別日課を設定しましたが、子どもたちの元気の良さはチューリップにも負けない力強さです。

さて、日本の中学校教育では、3年前から「新たな学び」がスタートしています。今までは教師が教えたことを覚えるというインプット型で、川下りのような学習でした。川下りのような学習とは、時間の経過とともにボートは下流へと進み、その流れの中で急流を乗り越えるなどの多くの経験を積み、さまざまな人との出会いを重ねる。そして大海原に達し、人生・キャリアステージを見いだしていくというものでした。

「新たな学び」とは、「主体的・対話的で深い学び」です。そして「個別最適な学び」・「協働的な学び」という令和の日本型学校教育へと繋がっていくと言われているものです。学校が、教える場から「生徒自身が学び取る場」へと大きく転換されることとなります。生徒一人一台のタブレット型パソコンが用意されたことは、これらの新たな学びが展開されることを意味しています。これからは、山登りのような学習が求められているのだと思います。山登りは川下りとは違って、前進するためには生徒自身が歩みを進めることが必要です。生徒自身が学び取る姿勢をもって主体的に学習を進めることが重要になるということです。個々の生徒が「問いをもち、仲間と学び合い、自分の思いや考えをアウトプットし、自分の学びを振り返る」という学習プロセスを大切にすることがポイントになります。

「自分から歩みを進める」ことが強く求められる時代が到来したわけです。5月のこの時期に大切なことは、目標を立てて、その実現に向けての計画を立てて、実行し始めることです。何も考えずに毎日過ごしては学校生活の目的を見失い、できることもできなくなってしまいます。皆さんには、無限の可能性があり、努力次第で目標は達成できるのです。1年のスタートのこの時期を大切にしたいと思います。

雄武中学校でも新たな学びの実現に向けてチャレンジしていきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

